

平成 20 年 3 月 13 日
(株) 足利銀行 与信統括室
産業調査グループ

足利銀行（頭取 池田 憲人）は、「来年度（平成 20 年度）の景気見通し」について調査を行いましたので、その結果を別紙の通り発表いたします。今回のポイントは下記の通りです。

記

< 調査結果のポイント >

1. 現在（平成 20 年 2 月）の自社業界の景気判断

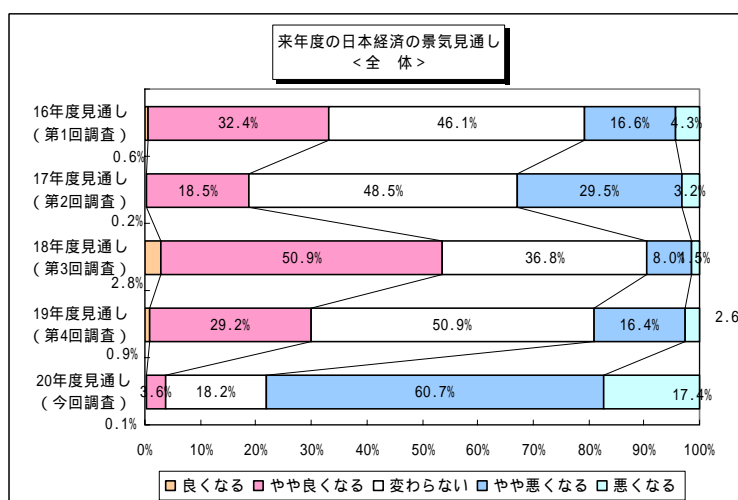
- ・ 1 年前と比較して、「悪化」した企業が 61.9% となり「好転」した企業の 9.4% を 52.5 ポイントと大きく上回った。昨年調査と比較しても「悪化」した企業の増加幅は 29.9 ポイントと急増し、約 6 割の企業が景気は悪くなったとみている。見通し調査を開始して以来「悪化企業」割合が最も高くなり、18 年度見通し、19 年度見通しとは様変わりの様相となった。

2. 平成 20 年度の自社業界の景気見通し

- ・ 今年度と比較して「悪化」するとみている企業が 60.3% となり「好転」するとみている企業の 12.0% を 48.3 ポイント上回った。約 6 割の企業が、足元の景気の落込みは来年度も引き続き影響を及ぼすとみている。

3. 平成 20 年度の日本経済の見通し

- ・ 今年度と比較して「悪化企業」が 78.1% となり「好転企業」の 3.7% を 74.4 ポイントも上回った。約 8 割の企業が来年度の日本経済は悪くなるとみている。



本件に関するお問い合わせ先 : 与信統括室 内田 028-626-0530

来年度（平成 20 年度）の景気見通し調査

< 調査結果のポイント >

1. 現在の自社業界の景気判断

- ・ 1 年前と比較して、「悪化」した企業が 61.9% となり「好転」した企業の 9.4% を 52.5 ポイントと大きく上回った。昨年調査と比較しても「悪化」した企業の増加幅は 29.9 ポイントと急増し、約 6 割の企業が景気は悪くなったとみている。見通し調査を開始して以来「悪化企業」割合が最も高くなり、18 年度見通し、19 年度見通しとは様変わりの様相となった。

2. 平成 20 年度の自社業界の景気見通し

- ・ 今年度と比較して「悪化」するとみている企業が 60.3% となり「好転」するとみている企業の 12.0% を 48.3 ポイント上回った。約 6 割の企業が、足元の景気の落込みは来年度も引き続き影響を及ぼすとみている。

3. 平成 20 年度の日本経済の見通し

- ・ 今年度と比較して「悪化企業」が 78.1% となり「好転企業」の 3.7% を 74.4 ポイントも上回った。約 8 割の企業が来年度の日本経済は悪くなるとみている。

< 調査の概要 >

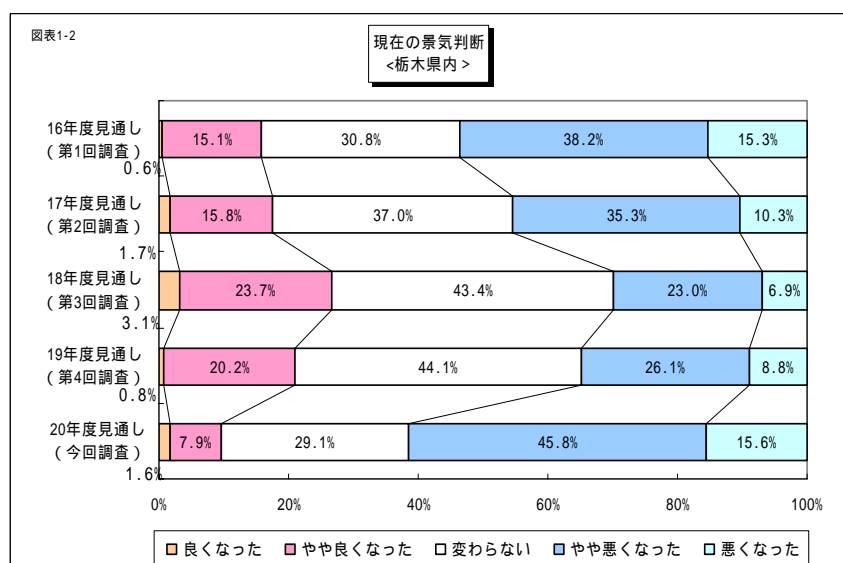
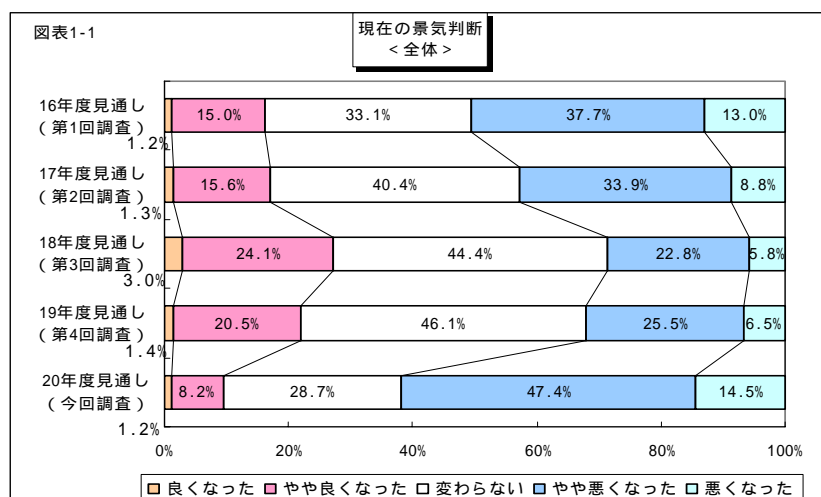
- (1) 調査時期 平成 20 年 2 月上旬
- (2) 調査方法 当行実施「あしぎん景況調査」の特別質問
- (3) 調査対象企業 「あしぎん景況調査」の調査対象先 2,369 社
- (4) 企業規模区分 従業員数にて規模を区分
大企業……製造、建設、運輸は 300 人以上、
卸売、サービスは 100 人以上、小売は 50 人以上
中小企業…上記未満
- (5) 有効回答企業数 1,406 社（有効回答率 59.3%）
- (6) 回答状況 下記のとおり

回答状況		対象企業数	有効回答数	有効回答率
		2,369	1,406	59.3%
地域	栃木県内	1,150	764	66.4%
	栃木県内	1,219	642	52.7%
企業規模	大企業	549	308	56.1%
	中小企業	1,820	1,098	60.3%
業種	製造業	1,020	622	61.0%
	飲・食料品	111	73	65.8%
	繊維品	59	34	57.6%
	木材・木製品	34	22	64.7%
	紙・パルプ	29	19	65.5%
	化学品	30	13	43.3%
	プラスチック	61	42	68.9%
	窯業・土石	44	31	70.5%
	鉄鋼・非鉄	71	46	64.8%
	金属製品	108	64	59.3%
	一般機械	107	61	57.0%
	電気機械	117	67	57.3%
	輸送用機械	89	51	57.3%
	精密機械	60	37	61.7%
	その他	100	62	62.0%
	非製造業	1,349	784	58.1%
	建設	252	166	65.9%
	卸売	247	147	59.5%
	小売	256	146	57.0%
	運輸	206	120	58.3%
	サービス	388	205	52.8%

1. 現在（平成 20 年 2 月）の自社業界の景気判断

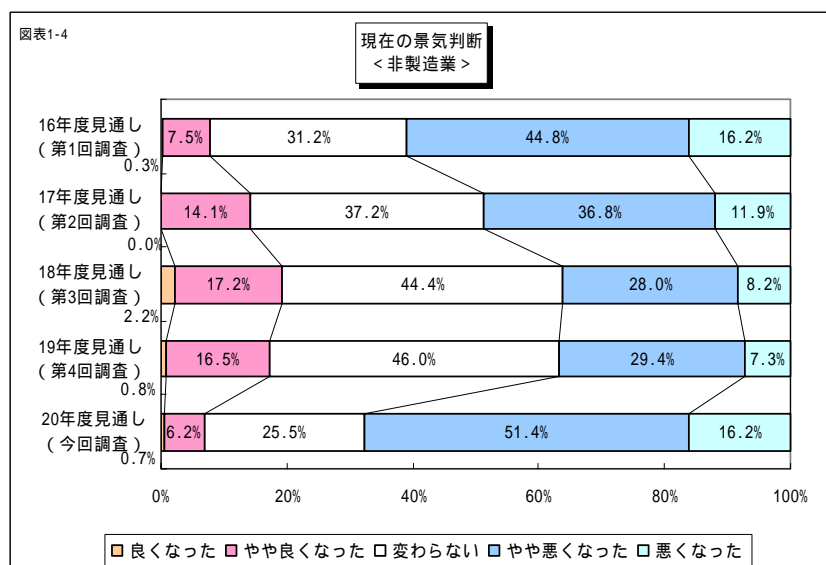
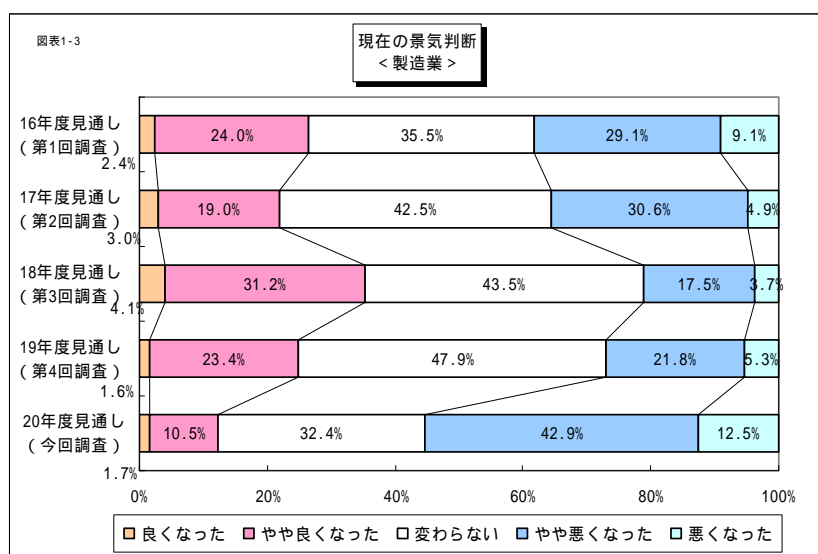
(1) 全体

- ・ 自社業界の足元の景気判断は、1 年前と比較して「悪化した」(「悪くなった」+「やや悪くなった」)と回答した企業（以下「悪化企業」）(61.9%) が「好転した」(「良くなった」+「やや良くなった」)と回答した企業（以下「好転企業」）(9.4%) を 52.5 ポイントも上回り、約 6 割の企業が悪化したと回答している。見通し調査を開始して以来「悪化企業」割合が最も高くなった。（図表 1-1）
- ・ 昨年調査と比較すると、「悪化企業」は 29.9 ポイント増（32.0% → 61.9%）と急増し、「好転企業」は 12.5 ポイント減（21.9% → 9.4%）となった。（図表 1-1）
- ・ 栃木県内においても、「悪化企業」(61.4%) が「好転企業」(9.5%) を 51.9 ポイント上回った。昨年調査との比較では「悪化企業」は 26.5 ポイント増（34.9% → 61.4%）、「好転企業」が 11.5 ポイント減（21.0% → 9.5%）となった。（図表 1-2）



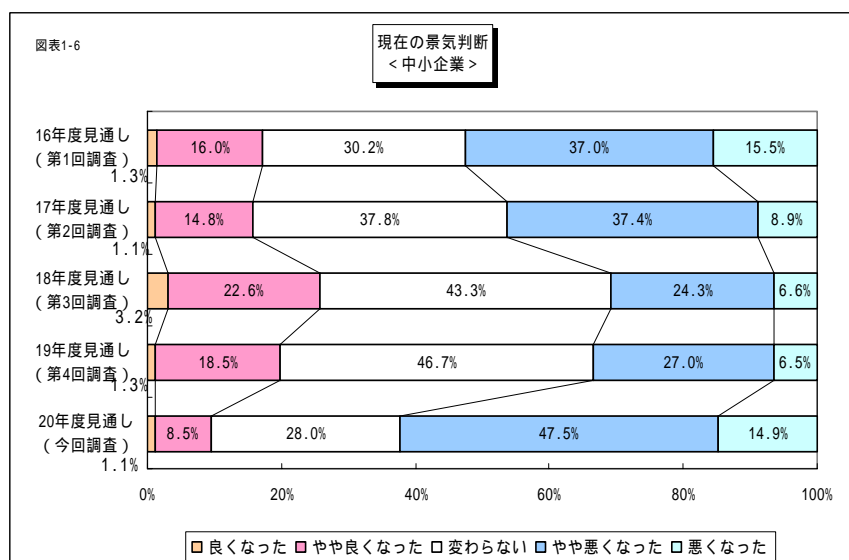
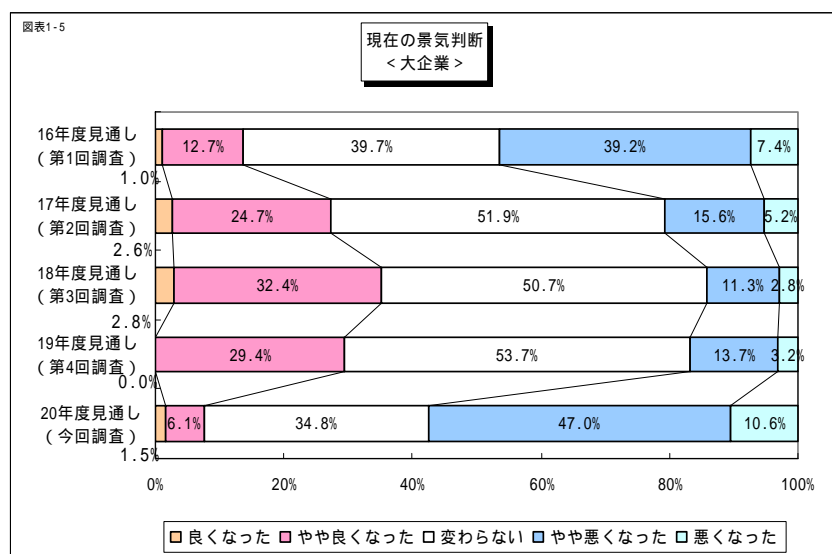
(2)業種別の傾向

- ・製造業では「悪化企業」(55.4%)が「好転企業」(12.2%)を43.2ポイント上回った。非製造業でも「悪化企業」(67.6%)が「好転企業」(6.9%)を60.7ポイント上回った。製造業、非製造業ともに「悪化企業」が大幅に増加し、特に非製造業は製造業に比べ「悪化企業」の割合が高い。(図表1-3、1-4)
- ・昨年調査と比較すると、製造業では「悪化企業」が28.3ポイント増(27.1%→55.4%)、「好転企業」は12.8ポイント減(25.0%→12.2%)となった。非製造業でも「悪化企業」が30.9ポイント増(36.7%→67.6%)、「好転企業」が10.4ポイント減(17.3%→6.9%)となった。製造業、非製造業ともに「悪化企業」が約3割増加した。(図表1-3、1-4)



(3)企業規模別の傾向

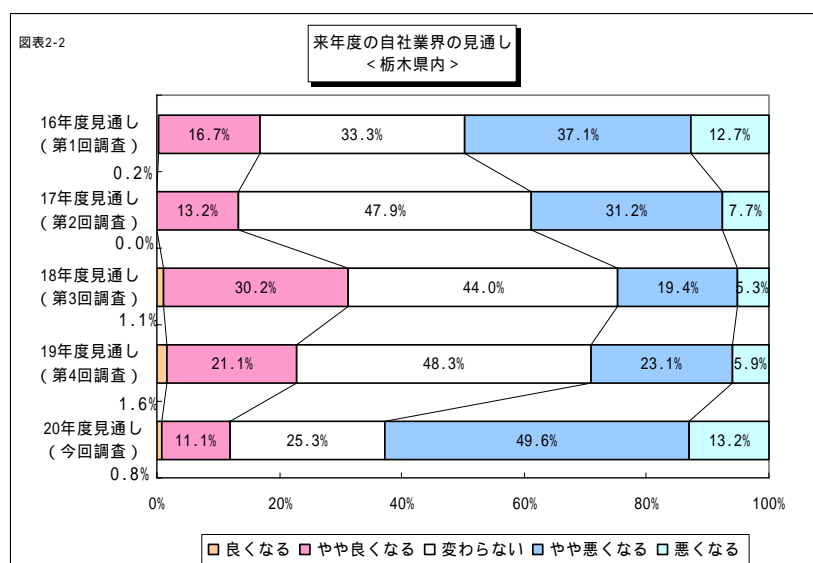
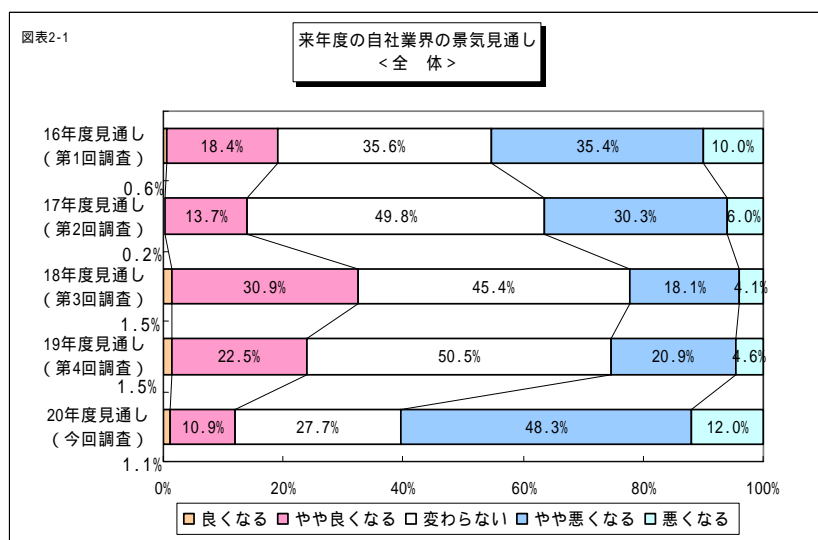
- ・大企業では「悪化企業」(57.6%)が「好転企業」(7.6%)を50.0ポイント上回った。中小企業でも「悪化企業」(62.4%)が「好転企業」(9.6%)を52.8ポイント上回った。大企業、中小企業ともに「悪化企業」が約6割を占め、ほぼ同水準となった。(図表1-5、1-6)
- ・昨年調査と比較すると、大企業では「悪化企業」が40.7ポイント増(16.9%→57.6%)、「好転企業」が21.8ポイント減(29.4%→7.6%)となり、中小企業でも「悪化企業」が28.9ポイント増(33.5%→62.4%)、「好転企業」が10.2ポイント減(19.8%→9.6%)となった。「悪化企業」が大企業で約4割、「中小企業」で約3割増加した。(図表1-5、1-6)



2 . 平成 20 年度の自社業界の景気見通し

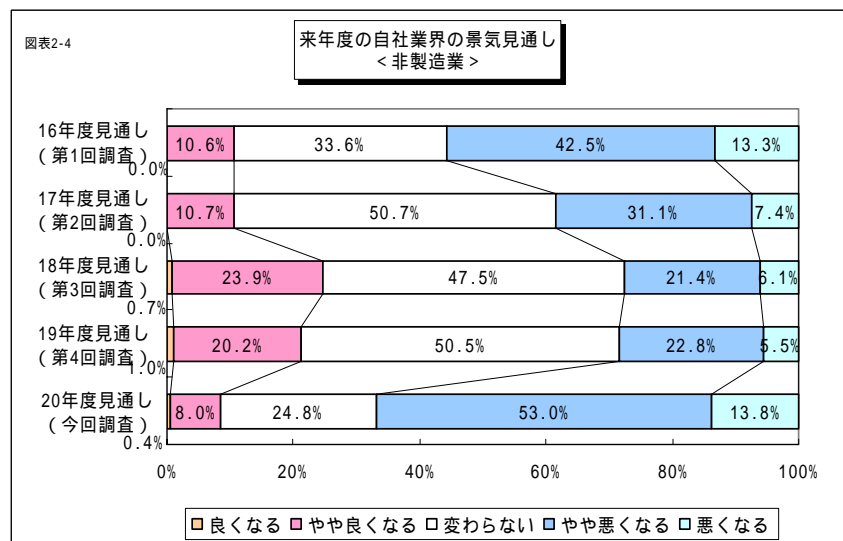
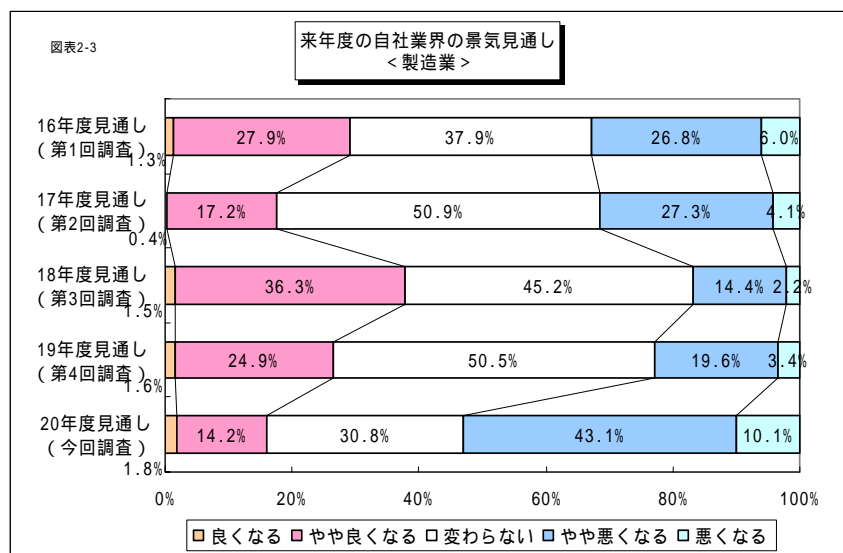
(1)全体の傾向

- ・ 自社業界の 20 年度の景気見通しは、今年度と比較して「悪化企業」(60.3%) が「好転企業」(12.0%) を 48.3 ポイント上回った。約 6 割の企業が来年度の自社業界の景気は「悪化」すると回答しており、足元の景気の落込みは来年度も影響を及ぼすとみている。(図表 2-1)
- ・ 昨年調査と比較すると、「悪化企業」が 34.8 ポイント増 (25.5% → 60.3%) と急増し、「好転企業」が 12.0 ポイント減 (24.0% → 12.0%) となった。
- ・ 栃木県内においても「悪化企業」(62.8%) が「好転企業」(11.9%) を 50.9 ポイント上回り、6 割以上の企業が「悪化」するとみている。(図表 2-2)

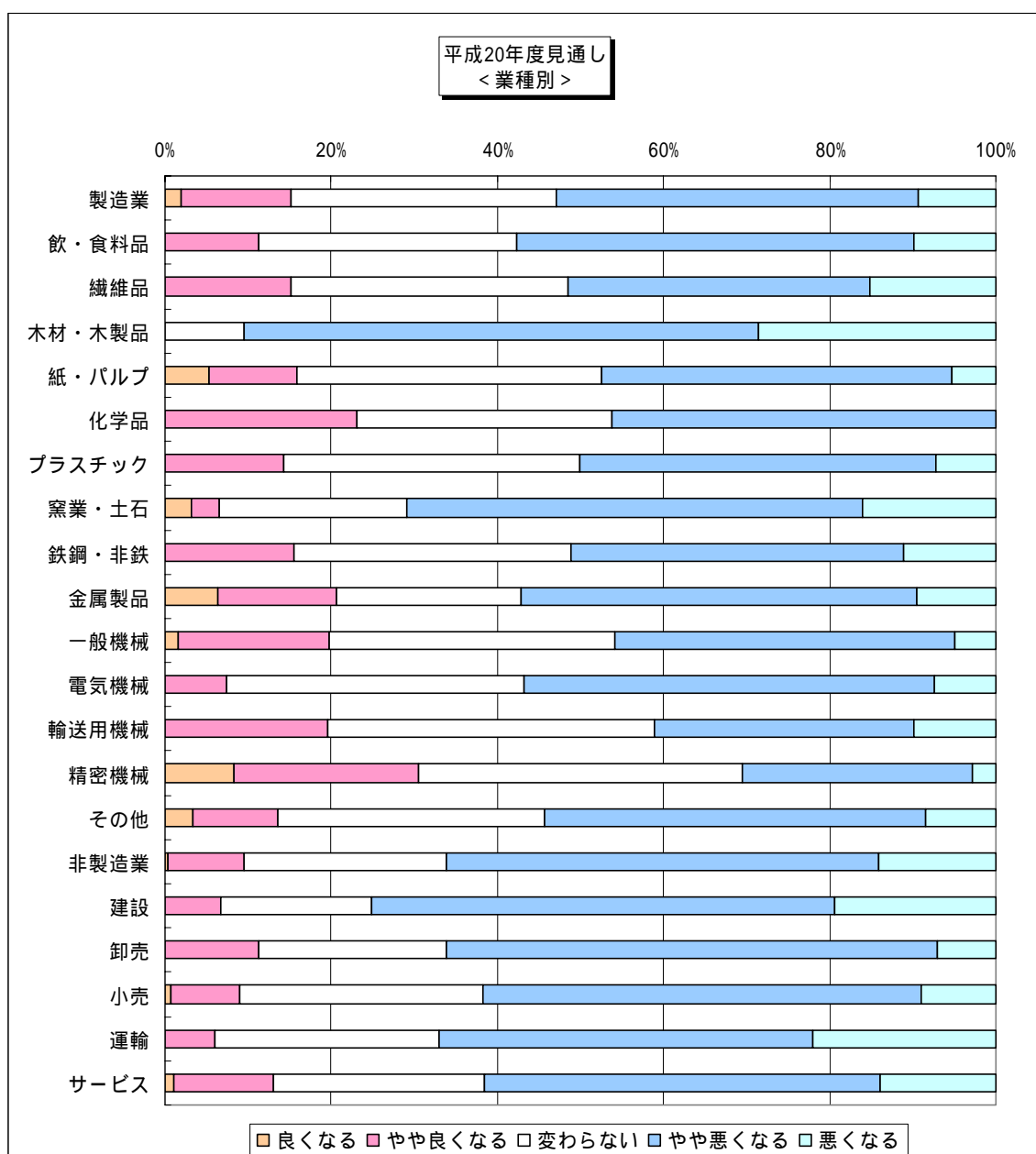


(2)業種別の傾向

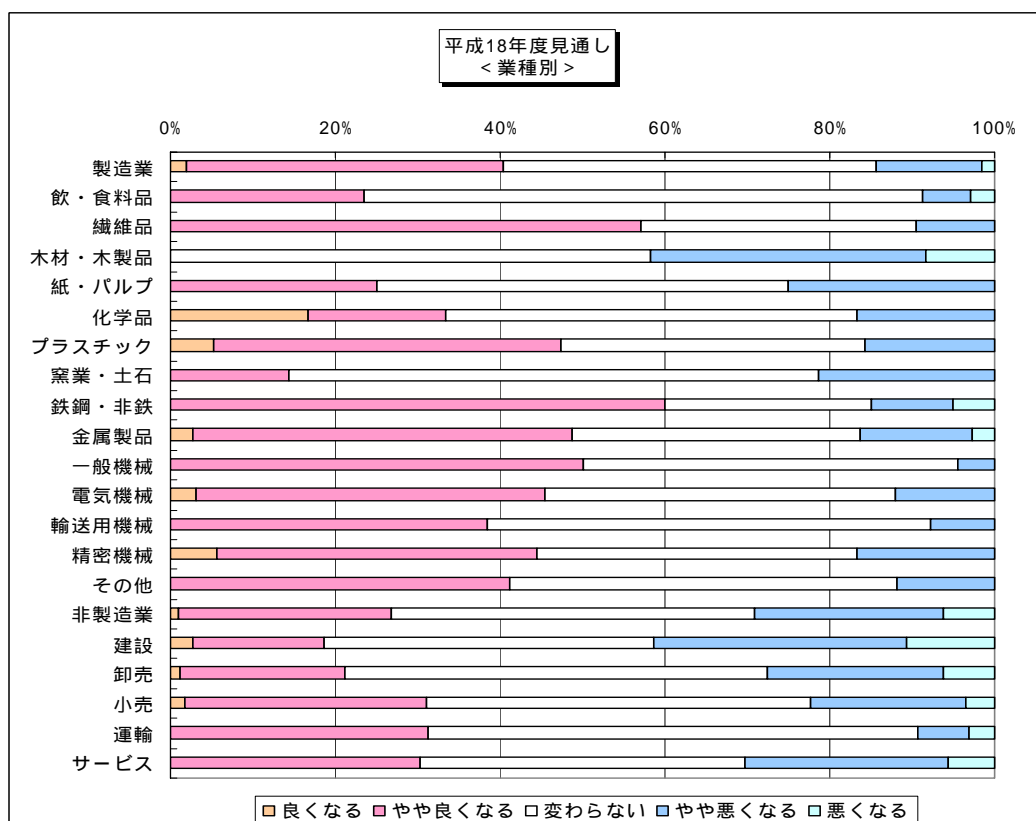
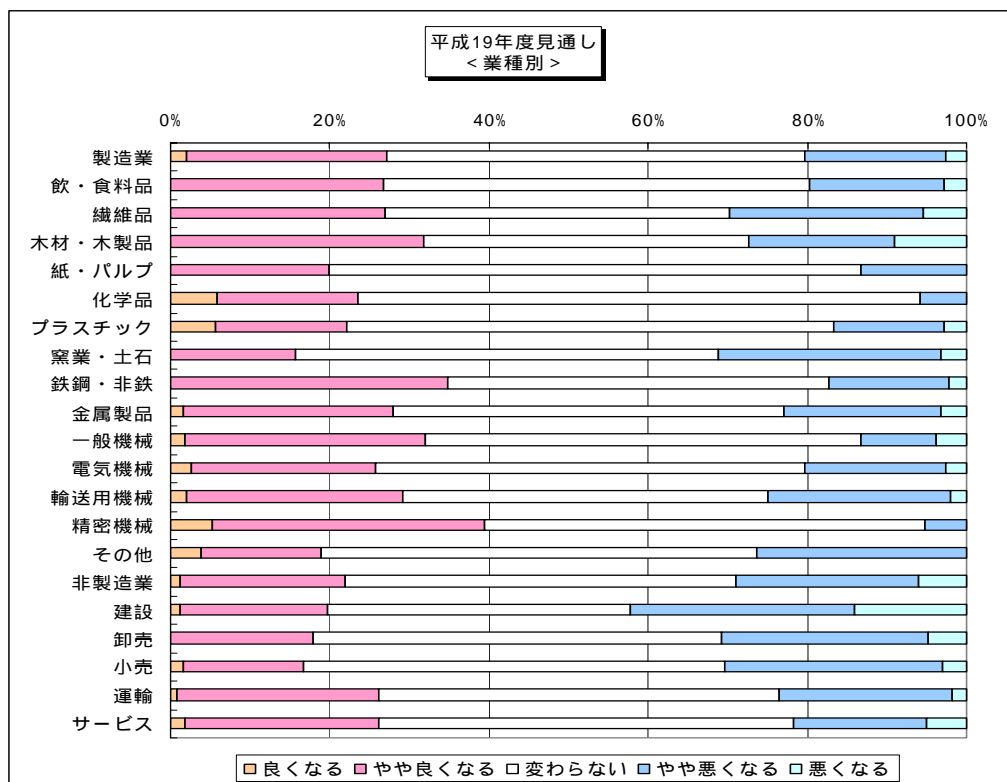
- ・製造業では、「悪化企業」(53.2%)が「好転企業」(16.0%)を 37.2 ポイント上回った。一方、非製造業では「悪化企業」(66.8%)が「好転企業」(8.4%)を 58.4 ポイント上回った。非製造業では約 7 割の企業が悪化するとみており、製造業よりもさらに厳しい見方をしている。(図表 2-3、2-4)
- ・昨年調査と比較すると、製造業では「悪化企業」が 30.2 ポイント増 (23.0% → 53.2%)、「好転企業」は 10.5 ポイント減 (26.5% → 16.0%)となった。非製造業では「悪化企業」は 38.5 ポイント増 (28.3% → 66.8%)、「好転企業」は 12.8 ポイント減 (21.2% → 8.4%)となった。非製造業は製造業に比べ「悪化企業」の増加幅が大きい。(図表 2-3、2-4)



- ・業種別でみると、製造業において「悪化企業」の割合が大きい業種は「木材・木製品」(90.5%)「窯業・土石」(70.9%)「飲・食料品」(57.8%)となっており、非製造業では「建設」(75.2%)「運輸」(66.9%)「卸売」(66.2%)となった。
- ・「悪化企業」の割合が高くなった要因には、最近の原材料の高騰や建築基準法改正等の影響が出ているものと思われる。

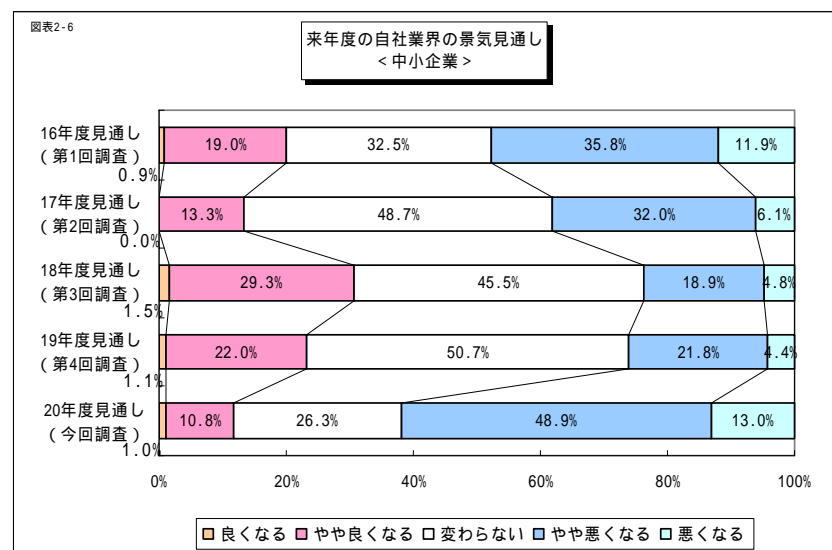
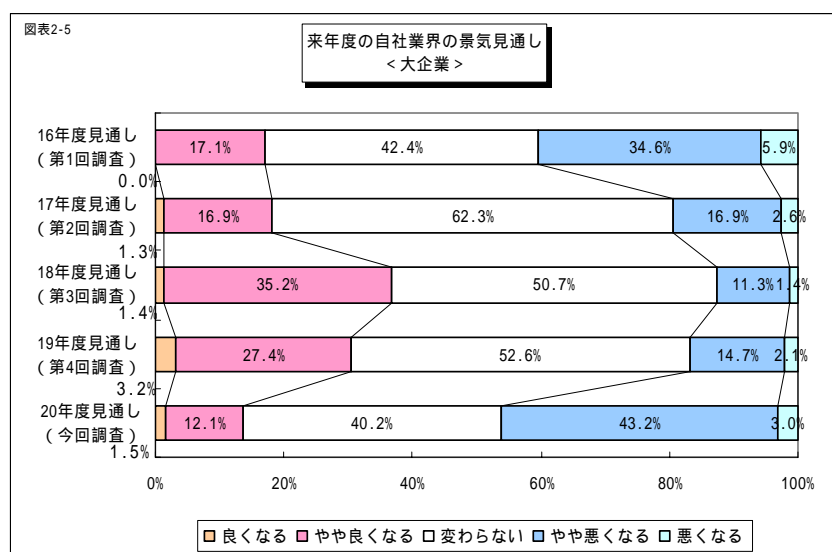


< 参考 >



(3)企業規模別の傾向

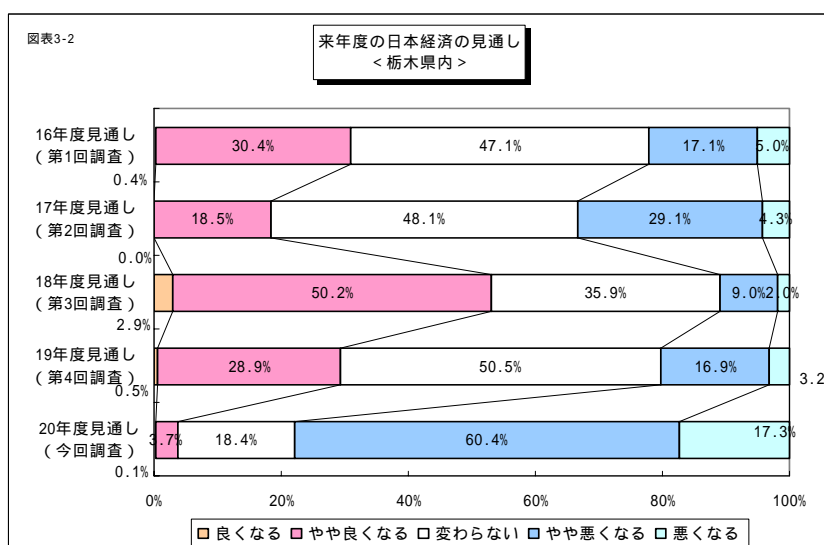
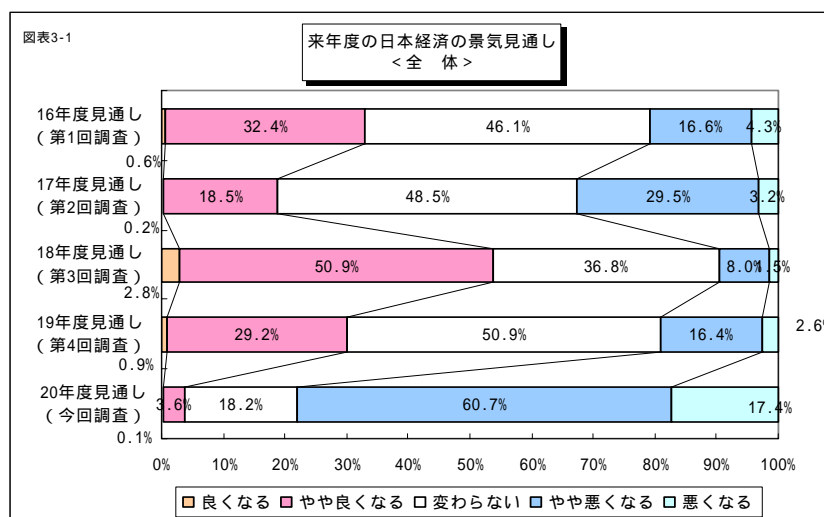
- ・大企業では、「悪化企業」(46.2%)が「好転企業」(13.6%)を32.6ポイント上回った。中小企業でも「悪化企業」(61.9%)が「好転企業」(11.8%)を50.1ポイント上回った。中小企業は大企業に比べ、来年度の自社業界の景気は悪くなるとみている割合が高い。(図表2-5、2-6)
- ・昨年調査と比較すると、大企業では「悪化企業」が29.4ポイント増(16.8%→46.2%)、「好転企業」が17.0ポイント減(30.6%→13.6%)となった。中小企業では、「悪化企業」が35.7ポイント増(26.2%→61.9%)、「好転企業」が11.3ポイント減(23.1%→11.8%)となった。(図表2-5、2-6)



3 . 平成 20 年度の日本経済の見通し

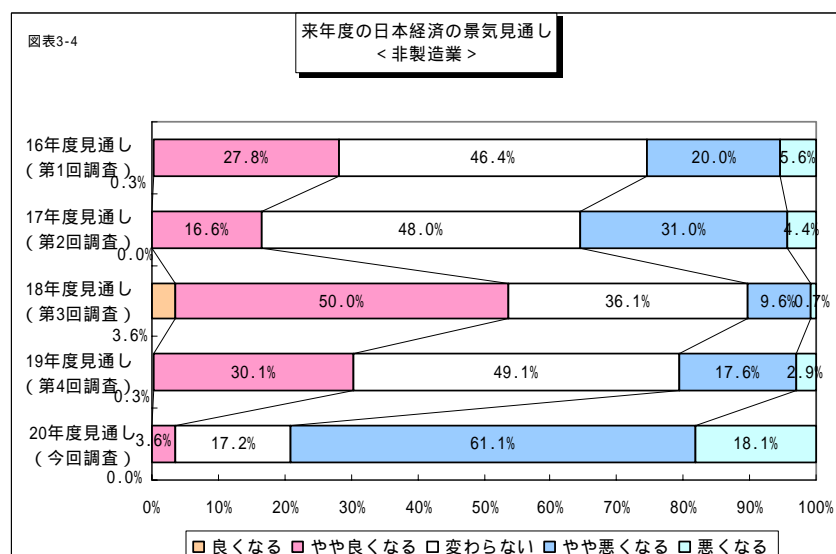
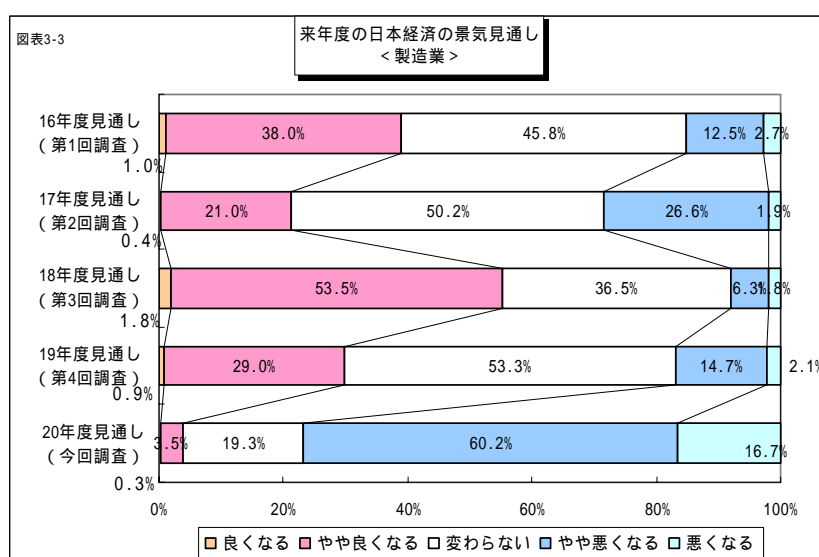
(1)全体の傾向

- ・日本経済全体の 20 年度景気見通しは、今年度と比較して「悪化企業」(78.1%) が「好転企業」(3.7%) を 74.4 ポイントも上回り、約 8 割の企業が来年度の日本経済は悪くなるとみている。(図表 3-1)
- ・昨年の調査と比較すると、「悪化企業」が 59.1 ポイント増 (19.0% 78.1%) 「好転企業」が 26.4 ポイント減 (30.1% 3.7%) となった。悪化するとみている企業が約 6 割も増加した。(図表 3-1)
- ・栃木県内においても「悪化企業」(77.7%) が「好転企業」(3.8%) を 73.9 ポイント上回った。昨年の調査よりも「悪化企業」が 57.6 ポイント増 (20.1% 77.7%) と大幅に増加し、約 8 割の企業が来年度の日本経済は悪くなるとみている。(図表 3-2)



(2) 業種別の傾向

- ・製造業では「悪化企業」(76.9%)が「好転企業」(3.8%)を73.1ポイント上回った。非製造業でも、「悪化企業」(79.2%)が「好転企業」(3.6%)を75.6ポイント上回り、製造業、非製造業ともに「悪化企業」が約8割を占め、ほぼ同水準となった。(図表3-3、3-4)
- ・昨年の調査と比較すると、製造業では「悪化企業」が60.1ポイント増(16.8%→76.9%)、「好転企業」が26.1ポイント減(29.9%→3.8%)となった。非製造業でも「悪化企業」が58.7ポイント増(20.5%→79.2%)、「好転企業」が26.8ポイント減(30.4%→3.6%)となった。製造業、非製造業ともに「悪化企業」が約6割増加した。(図表3-3、3-4)



(3)企業規模別の傾向

- ・大企業では「悪化企業」(69.7%)が、「好転企業」(3.0%)を66.7ポイント上回った。中小企業でも「悪化企業」(79.1%)が「好転企業」(3.8%)を75.3ポイント上回った。大企業では約7割、中小企業では約8割の企業が、来年度の日本経済は悪化するとみている。(図表3-5、3-6)
- ・昨年の調査と比較すると、大企業では「悪化企業」が62.3ポイント増(7.4% 69.7%)、「好転企業」が34.9ポイント減(37.9% 3.0%)となった。中小企業では「悪化企業」が59.6ポイント増(19.5% 79.1%)、「好転企業」が26.1ポイント増(29.9% 3.8%)となった。大企業、中小企業ともに悪化するとみている企業が約6割増加し、来年度の景気は今まで以上に厳しい見方をしている。(図表3-5、3-6)

